

◇事務局便り◇

## I 第17期・第2回理事会報告

第17期第2回理事会が平成27年3月27日に、東京農工大学農学部（東京都府中市）において開催されました。議事の概要は以下のとおりです。

### 1. 協議事項

#### 1) 北海道大会の日程およびシンポジウム企画について

27年度研究大会は、平成27年9月10日（木）～12日（土）の3日間の日程で、北海道大学農学部（札幌市北区）において開催することが承認されました。実行委員会から、日程、会場、企画などの予定が提案されました。

このうち大会シンポジウムについては、企画担当の木南副会長から企画案が提案されました。シンポジウムのテーマは「農業におけるアントレプレナーシップと人材育成（仮題）」として、2名の座長と3名の報告者などで構成すること、本シンポジウムのねらいとして、今日の日本農業におけるアントレプレナーシップに関わる問題を経営者育成やベンチャーキャピタルなど様々な立場から検証し、リーダーシップを持って、イノベーションを創出できるアントレプレナーシップを有する人や組織の育成にむけた課題を明らかにしたい、という構想案が報告され、了承されました。

#### 2) 役員選出規定の改定について

地区ごとの理事選出方法について、会則・規定の改定案を提案し、審議を行いました。会長指名理事の選出を含め、現在の理事選出の仕組みについて会員に周知するとともに、9月の総会で役員選出規定の改定を提案することになりました。

また、編集委員長の選出方法についての審議を行い、編集委員長の責務に鑑み、新たに編集担当の副会長枠を設ける改定案を9月の総会で提案す

ることになりました。

#### 3) その他

①第17期の学会賞選考委員会（小田滋晃委員長以下7名）、実践賞選考委員会（斎藤潔委員長以下7名）の設置が了承されました。②人事異動に伴う事務局理事の交替について事務局より報告し、新たに山本淳子会員（中央農業総合研究センター）を選出するとともに、事務局担当理事を宮武恭一に、編集担当理事を山本淳子に交替することが承認されました。③日本農学会の評議委員として南石晃明会長を、運営委員として宮武恭一事務局担当理事を登録することが了承されました。

## 2. 報告事項

### 1) 編集委員会報告

編集委員会から、学会誌の刊行予定及び論文の投稿・審査状況等について報告がありました。また、学会誌賞の選考を開始したことが報告されました。シンポジウム論文の投稿規定についても整備していくことになりました。

### 2) 日本農業経営大学校との連携協力について

日本農業経営学会と日本農業経営大学校との間で、農業経営にかかる教育・調査研究および人材育成のための方法等について、連携協力を推進するための協定書を交わすことが報告されました。

### 3) 事務局体制について

中央農業総合研究センターにおける事務管理体制の見直しに伴い、①学会HPの移転を担当する会長指名理事として松本浩一会員（中央農業総合研究センター）を指名すること、②事務局体制の見直しにむけたワーキンググループを立ち上げることになりました。

### 4) 特別会員の推薦について

特別会員として、門間敏幸会員を総会に推薦することが承認されました。